学校番号	３０８

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「新　探求古典Ｂ　古文編・漢文編」（桐原書店）						
副教材等	改訂増補版　最新国語便覧（浜島書店）　体系古典文法八訂版（数研出版） 体系古典文法学習ノート改訂版（数研出版）　さくらさく古文単語（浜島書店） 漢文学習必携三定版（京都書房）　よむナビ古典　２（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢文も含め、我が国の古典文学に対する関心を持ち、時代を経ても変わらないもの（文学の主題）時代や国の違いによって変わっていくもの（文法、句法や語句、時代背景）を理解しながら、古典の世界に親しみましょう。有名な作品の冒頭文や有名な詩歌は覚えていきましょう。
・古典文法（用言、助動詞、助詞、係り結び、敬語）を理解し、古語を豊かにすることによって、作品世界を理解し、古文を的確に読み取れるようになりましょう。古文では、省略されている助詞や主語、目的語などを補いながら、敬語等に注意して、主語の変化に気を付け、文脈を正確に読み取れるようになりましょう。古文の有職故実等を理解し、古典の世界の常識を知った上で登場人物の気持ちが理解できるようになりましょう。
・漢文では、覚えるべき文字（再読文字、返読文字、置き字、漢文特有の語句など）や書き下し文のきまりをしっかり覚え、句法を覚えていきましょう。
・予習として、必ず本文を音読してきましょう。そのうえで、古文では、品詞分解、わからない古語の辞書での確認をして授業を受けましょう。漢文では、書き下し文を自分で作り、わからない語句を漢和辞典で調べて授業を受けましょう。授業の後には、自分のノートで訳を確認し、覚えるべき語句や文法、句法を復習しておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。あとから復習しやすいように、自分の力で授業中にノートを完成させていきましょう。定期考査は、学習計画を立てて、自分のノートでしっかり学習して臨んで下さい。授業中の小テストも、準備をしっかりして受けるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・有名な作品の冒頭文や、有名な詩歌のフレーズや故事成語などは覚えて、「教養」として身についている。
・自分の人生をさらに豊かにするものとして、抵抗なく古文や漢文に親しむ姿勢がみられる。
・古文では、自力で品詞分解ができ、古語辞書を使って口語訳がだいたいできる。
・漢文では、自力で書き下し文ができ、漢和辞典を使っておおよその訳ができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	言語文化や時代背景、歴史や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して古典作品に親しもうとする。	古典作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにし深めている。	古典作品を読解するのに必要な仮名遣いなどの表記、文法、語句、語彙、古典常識、漢字、句法などの知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（授業中の発言等） ・提出物の点検（ノート、ワークシート等）	・提出物の点検及び分析（ノート、ワークシート等） ・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期中間	物語・随筆 故事・寓話	「姥捨」 (『大和物語』) 「行く川の流れ」 「安元の大火・治承のつじ風」 (『方丈記』) 「画竜点睛」(『歴代名画記』) 「漱石枕流」(『世説新語』)	○	○	○	a:内容を読み取ろうと努力している。 和歌の働きを理解しようとしている。 作者の思想や歴史的事象の記録を理解しようとしている。 故事成語の成り立ちに関心を持っている。 b: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、読み深めている。 作者の物の見方を理解し、本文の内容を理解している。 漢文の基本的な句形について理解を深めている c:文学史的な知識及び重要古語の意味を理解している。また用言の活用を理解し、付属語の分類ができる。 使役形、疑問系が理解できている。 現在使われている意味を理解できている。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:提出物の点検 小テスト及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
1学期期末	物語・随筆・物語 漢詩	「狩りの使ひ」 (『伊勢物語』) 「中納言参りたまひて」 (『枕草子』) 「歌詠みて罪を許さるること」 (『宇治拾遺物語』) 「三船の才」 (『大鏡』) 絶句・律詩	○	○	○	a:様々なジャンルの文章について感心を高めている。 漢詩に親しみ理解しようとしている。 b:助動詞、敬語、和歌の修辞について基本的な事柄を理解し、話の展開に沿って内容が理解できる。 近代詩の詩形などの決まりを理解して、内容を味わうことができる。 c: 助動詞の意味、用法を理解している。敬語について理解している。漢詩の決まりを理解している。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:提出物の点検 小テスト及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

2学期中間	歴史物語・随筆 文章	「花山院の出家」 「道長と伊周の競射」 （『大鏡』） 「雪のいと高う降りたるを」 （『枕草子』） 桃花源記 （『陶淵明集』）	○	○	○	a:歴史を物語として読むことに興味を持つ。 作者の感性に関心を持つ。 作者の生きた時代における理想の社会に関心を持つ。 b:敬語を理解し、物語及び文章の流れがわかる。 長文を、主語を補いながら適切に読む。 c:敬語を理解し、適切な主語、目的語を補い、あらすじをおさえる。 主語を補いながらあらすじを追うことができる。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:提出物の点検 小テスト及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
2学期期末	日記・物語 史伝	「門出」（『更級日記』） 「光源氏の誕生」 （『源氏物語』） 「鴻門之会」 （『史記・項羽本紀』）	○	○	○	a: 文章に描かれている作者や人物の心情及びあらすじの展開を表現に即して読み深めようとしている。 b: 文章に描かれている作者や人物の心情及びあらすじの展開を表現に即して読み、読み深めている。 漢文の中核をなす句形を理解し、あらすじを読める。 c:源氏物語の文学史的意義および、日記文学の内容を理解し、筆者及び登場人物の心情を理解する。 抑揚形、反語形、使役形、疑問形がわかる	a:行動の観察及び提出物の点検 b:提出物の点検 小テスト及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

学年末	物語・随筆・和歌 思想	「若紫との出会い」 （『源氏物語』） 「これも仁和寺の法師」 （『徒然草』） 和歌(春秋) （『古今和歌集』等） 『論語』 『孟子』	○	○	○	a: 源氏物語への興味関心を高めている。 随筆の話の面白さに興味を持つ。 和歌への興味関心を高めている。 中国の思想に関する興味を持つ。 b: 文章に描かれている人物の心情及びあらすじの展開を表現に即して読み、読み深めようとしている。 和歌の心情を読もうとしている。 中国の儒教の根本思想を仮定形、反語形に注意して読む。 c: 古文の特徴を理解し、主語、目的語、助詞を補いながら自分であらすじがおえる。 和歌の修辞、句切れ等に注意し、作者の心情が理解できる。 中国の儒教の教えが理解できる。	a:行動の観察及び提出物の点検 b:提出物の点検 小テスト及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。